

## 獨協医科大学埼玉医療センター外科専門医養成プログラム

### (サブスペシャリティ連動型)

#### 1. 獨協医科大学埼玉医療センター外科専門医養成プログラム（サブスペシャリティ連動型）について

獨協医科大学埼玉医療センター外科専門医養成プログラム（サブスペシャリティ連動型）の目的と使命は以下の5点です。

- 1) 専攻医が医師として必要な基本的診療能力を習得すること
- 2) 専攻医が外科領域の専門的診療能力を習得すること
- 3) 上記に関する知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、標準的な医療を提供でき、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となること
- 4) 外科専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること
- 5) 外科領域全般からサブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、内分泌外科）の専門研修を行い、それぞれの領域の専門医取得へと連動すること

#### 2. 研修プログラムの施設群

獨協医科大学埼玉医療センターと連携施設（19施設）により専門研修施設群を構成します。

本専門研修施設群では47名の専門研修指導医が専攻医を指導します。

#### 専門研修基幹施設

名称	都道府県	1:消化器外科, 2:心臓血管外科, 3:呼吸器外科, 4:小児外科, 5:乳腺内分泌外科, 6:その他（救急含む）	1. 統括責任者名 2. 統括副責任者名
獨協医科大学埼玉医療センター	埼玉県	1. 2. 3. 4. 5. 6.	1. 大矢 雅敏 2. 高野 弘志 2. 池田 均

### 専門研修連携施設

No.				連携施設担当者名
1	春日部市立医療センター	埼玉県	1, 4, 5, 6	大原 貴
2	西新井大腸肛門科	東京都	1	久保田 至
3	イムス東京葛飾総合病院	東京都	1, 2, 6	宗田 慶介
4	埼玉あすか松伏病院	埼玉県	1, 6	安達 実樹
5	イムス葛飾ハートセンター	東京都	2	田村 周一
6	東都春日部病院	埼玉県	1, 3	窪田 公一
7	みくに病院	埼玉県	1, 5, 6	石川 隆
8	十全病院	埼玉県	1	梅田 久美子
9	二宮病院	埼玉県	1, 5	二宮 淳
10	越谷誠和病院	埼玉県	1, 5, 6	井出 明毅
11	藤村病院	埼玉県	1, 5, 6	藤村 作
12	堀ノ内病院	埼玉県	1, 5	小島 徹
13	埼玉石心会病院	埼玉県	1, 2, 5	若松 裕二
14	公立昭和病院	東京都	1, 2, 4, 5, 6	山口 浩和
15	伊勢崎佐波医師会病院	群馬県	1, 5, 6	菊池 広吉
16	小笠原記念札幌病院	北海道	1, 5	宮坂 祐司
17	榛原総合病院	静岡県	1, 2	垣 伸明
18	獨協医科大学病院	栃木県	2, 3, 5	福田 宏嗣
19	さいたま記念病院	埼玉県	1, 5, 6	菅又 嘉剛

3. 専攻医の受け入れ数について（外科専門研修プログラム整備基準5.5 参照）  
本専門研修施設群の3年間NCD登録数は15,825例で、専門研修指導医は46名のため、本年度の募集専攻医数は10名です。

#### 4. 外科専門研修について

1) 外科専門医は初期臨床研修修了後、3年（以上）の専門研修で育成されます。  
➤ 3年間の専門研修期間中、基幹施設および連携施設のおのおので最低6カ月以上の研修を行います。

➤ 専門研修の3年間の1年目、2年目、3年目には、それぞれ医師に求められる基本的診療能力・態度（コアコンピテンシー）と外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる知識・技術の習得目標を設定し、その年度の終わりに達成度を評価して、基本から応用へ、さらに専門医としての実力をつけていくように配慮します。具体的な評価方法は後の項目で示します。

- 専門研修期間中に大学院へ進むことも可能です。大学院コースを選択して臨床に従事しながら臨床研究を進めるのであればその期間は専門研修期間として扱われます。
- 獨協医科大学埼玉医療センター外科専門医養成プログラム（サブスペシャリティ連動型）では、専門研修1年目には外科全般の基本的知識と技能の習得をめざし、2年目は外科全般の基本的知識と技能の習得を継続しつつ、将来サブスペシャリティとする予定の領域の研修を重点的に行えることを計画しています。3年目は、地域医療研修と将来サブスペシャリティとする予定の領域の研修が中心となります。
- サブスペシャリティ領域によっては外科専門研修を修了し、外科専門医資格を習得した年の年度初めに遡ってサブスペシャリティ領域専門研修の開始と認める場合があります。
- 研修プログラムの修了判定には規定の経験症例数が必要です。（専攻医研修マニュアル-経験目標2-を参照）
- 初期臨床研修期間中に外科専門研修基幹施設ないし連携施設で経験した症例（NCDに登録されていることが必須）は、研修プログラム統括責任者が承認した症例に限定して、手術症例数に加算することができます。（外科専門研修プログラム整備基準2.3.3 参照）

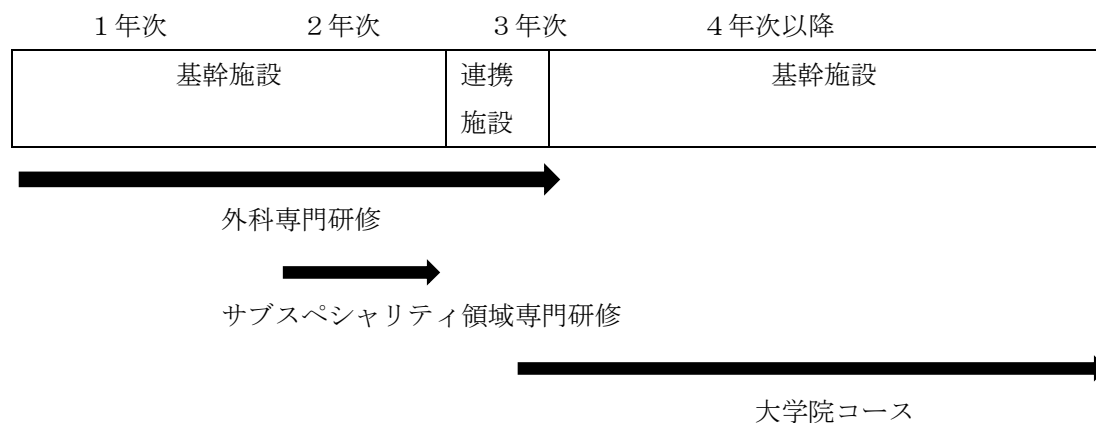
## 2) 年次毎の専門研修計画

- 専攻医の研修は、毎年の達成目標と達成度を評価しながら進められます。以下に年次毎の研修内容・習得目標の目安を示します。なお、習得すべき専門知識や技能は専攻医研修マニュアルを参照してください。
- 専門研修1年目では、獨協医科大学埼玉医療センターで6ヶ月以上研修し、基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。通常は、獨協医科大学埼玉医療センターの外科各診療部門（外科、心臓血管外科・呼吸器外科、小児外科、乳腺科）に加え、救命救急センターをローテートし、将来のサブスペシャリティとなり得る領域すべてと、救急救命医療を研修します。専攻医は各診療部門で定期的開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主催のセミナーの参加、e-learningや書籍や論文などの通読、日本外科学会が用意しているビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。
- 専門研修2年目では、将来サブスペシャリティとする予定の領域の診療部門を中心に研修しながら、外科の基本的知識と技能の習得を継続します。基本的診療能力の向上に加えて、外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医はさらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。

- 初期臨床研修2年目の選択希望履修の期間を含めて、専門研修2年目までの期間に、獨協医科大学埼玉医療センターにおいて、外科3ヶ月以上、心臓血管外科・呼吸器外科4ヶ月以上、小児外科1ヶ月以上、乳腺科1ヶ月以上の研修を行うことを原則とします。しかしながら、連携施設において各領域の研修を十分行える場合には、各領域の研修期間を調整します。
- 原則として、専門研修1年目または2年目に獨協医科大学埼玉医療センター救命救急センターで3ヶ月間、三次救急を含む外科救急を研修します。しかしながら、外科救急を十分研修できる連携施設で研修を行うこともあります。
- 専門研修3年目では、将来のサブスペシャリティとしたい領域の診療部門においてチーム医療で責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、外科の実践的知識・技能の習得により様々な外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。また、原則としてこの時期には、連携施設において地域医療に従事して、将来の専門医として外科の地域医療に貢献する経験を積みます。さらに、社会人大学院に入学して臨床研究を開始することも可能です。

(具体例)

下図は獨協医科大学埼玉医療センター外科専門医養成プログラム（サブスペシャリティ連動型）での研修の概略を示します。専門研修1・2年目は基幹施設での研修が中心となります。専門研修3年目は連携施設または基幹施設での研修となります。



専門研修スケジュールの具体例（各専攻医ごとに個別に作成します）

1) 一般消化器外科中心のスケジュールの例

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
初期研修2年次					内科系	内科系	内科系	内科系	内科系	内科系	内科系	内科系
専攻医1年次	外科	外科	外科	乳腺	小児外	心呼外	心呼外	心呼外	心呼外	救命	救命	救命
専攻医2年次	外科	外科	外科	外科	外科	外科	外科	外科	外科	外科	外科	外科
専攻医3年次	連携	連携	連携	連携	連携	連携	外科	外科	外科	外科	外科	外科

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
初期研修2年次					乳腺	心呼外	心呼外	心呼外	心呼外	小児外	内科系	内科系
専攻医1年次	外科	外科	外科	外科	外科	外科	外科	外科	外科	救命	救命	救命
専攻医2年次	外科	外科	外科	外科	外科	外科	外科	外科	外科	外科	外科	外科
専攻医3年次	外科	外科	外科	外科	外科	外科	連携	連携	連携	連携	連携	連携

2) 心臓血管外科・呼吸器外科中心のスケジュールの例

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
初期研修2年次					心呼外	心呼外	心呼外	心呼外	外科	外科	乳腺	小児外
専攻医1年次	外科	外科	外科	救命	救命	救命	心呼外	心呼外	心呼外	心呼外	心呼外	心呼外
専攻医2年次	心呼外	心呼外	心呼外	心呼外	心呼外	心呼外	心呼外	心呼外	心呼外	心呼外	心呼外	心呼外
専攻医3年次	連携	連携	連携	連携	連携	連携	心呼外	心呼外	心呼外	心呼外	心呼外	心呼外

3) 小児外科中心のスケジュールの例

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
初期研修2年次					心呼外	心呼外	心呼外	心呼外	乳腺	小児外	小児外	小児外
専攻医1年次	救命	救命	救命	外科	外科	外科	小児外	小児外	小児外	小児外	小児外	小児外
専攻医2年次	小児外	小児外	小児外	小児外	小児外	小児外	小児外	小児外	小児外	小児外	小児外	小児外
専攻医3年次	連携	連携	連携	連携	連携	連携	小児外	小児外	小児外	小児外	小児外	小児外

4) 乳腺・内分泌外科中心の例

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
初期研修2年次					心呼外	心呼外	心呼外	心呼外	小児外	乳腺	乳腺	乳腺
専攻医1年次	救命	救命	救命	外科	外科	外科	外科	外科	外科	外科	外科	外科
専攻医2年次	乳腺	乳腺	乳腺	乳腺	乳腺	乳腺	乳腺	乳腺	乳腺	乳腺	乳腺	乳腺
専攻医3年次	連携	連携	連携	連携	連携	連携	乳腺	乳腺	乳腺	乳腺	乳腺	乳腺

5) 連携施設での研修中心の例

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
初期研修2年次												
専攻医1年次	小児外	心呼外	心呼外	心呼外	心呼外	乳腺	救命	救命	救命	外科	外科	外科
専攻医2年次	連携	連携	連携	連携	連携	連携	連携	連携	連携	連携	連携	連携
専攻医3年次	連携	連携	連携	連携	連携	連携	連携	連携	連携	連携	連携	連携

獨協医科大学埼玉医療センター外科専門医養成プログラム（サブスペシャリティ連動型）での3年間の施設群ローテーションにおける研修内容と予想される経験症例数を下記に示します。各専攻医の研修施設や研修内容、経験症例数に偏り、不公平がないように十分配慮します。

獨協医科大学埼玉医療センター外科専門医養成プログラム（サブスペシャリティ連動型）の研修期間は3年間としていますが、習得が不十分な場合は習得できるまで

期間を延長することになります（未修了）。一方で、カリキュラムの技能を習得したと認められた専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医取得に向けた技能教育を開始し、また大学院進学希望者は、臨床研修と平行して研究を開始することができます。

#### ・専門研修1年目

原則として獨協医科大学埼玉医療センターで各診療部門をローテートして研修を行います。

外科（一般外科・消化器外科）/救命救急センター（救急医療）/心臓血管外科・呼吸器外科/小児外科/乳腺科（乳腺外科、内分泌外科）

獨協医科大学埼玉医療センターで6ヶ月以上の研修の後、連携施設で各領域を研修することもできます。

経験症例200例以上（術者50例以上）

#### ・専門研修2年目

獨協医科大学埼玉医療センターの下記の診療部門のいずれかに所属し研修を行います。

外科（一般外科・消化器外科）/救命救急センター（救急医療）/心臓血管外科・呼吸器外科/小児外科/乳腺科（乳腺外科、内分泌外科）

連携施設のいずれかに所属し、上記領域を研修する場合があります。

経験症例400例以上/2年（術者120例以上/2年）

#### ・専門研修3年目

連携施設のいずれかに6ヶ月間以上所属して研修を行い、残る期間は原則として獨協医科大学埼玉医療センターで研修を行います。

必要症例数が不足している領域がある場合には必要な診療部門を短期間ローテートします。

（サブスペシャリティ領域などの専門医連動コース）

獨協医科大学埼玉医療センター外科専門医養成プログラム（サブスペシャリティ連動型）では、原則として専門研修2年目に、サブスペシャリティ領域（消化器外科、心臓・血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、内分泌外科）の専門研修を開始します。

（大学院コース）

専門研修3年目に社会人大学院に進学し、臨床研究または学術研究・基礎研究を開

始することができます。経験症例数が十分な場合には研究専任となることも可能ですが期間は6か月以内とします。（外科専門研修プログラム整備基準5.11）

### 3) 研修の週間計画および年間計画

基幹施設（獨協医科大学埼玉医療センター外科）

		月	火	水	木	金	土
8:30-9:30	チーム回診	○	○	○	○	○	○
9:30-11:30	病棟業務	○	○	○	○	○	○
13:00-15:00	午後外来		○			○	
9:00-	手術	○			○		○
13:00-	手術		○				
10:30-11:30	総回診			○			
17:00-	術前術後カンファランス	○					
17:00-	ビデオカンファランス				○		
8:00-8:30	抄読会(月1回)						○
17:30-18:30	消化器内科合同カンファランス			○			

基幹施設（獨協医科大学埼玉医療センター心臓血管外科）

		月	火	水	木	金	土
7:30-8:00	入院患者カンファランス	○					
7:30-8:30	術前検討会			○			
8:00-8:20	循環器内科合同カンファランス	○					
8:00-8:30	病棟回診					○	
8:20-8:40	抄読会	○					
8:40-	手術	○		○		○	
9:00-13:00	午前外来	○	○	○	○	○	○
14:00-17:00	午後外来		○		○		
17:30-18:30	術後検討会			○			
18:00-	呼吸器内科合同カンファランス	○					
18:30-	新規患者カンファランス			○			

## 基幹施設（獨協医科大学埼玉医療センター呼吸器外科）

		月	火	水	木	金	土
7:30-8:30	術前カンファレンス			○			
8:00-8:30	抄読会・予演会	○					
8:30-9:00	回診・包交	○	○	○	○	○	○
9:00-	午前外来				○		
13:00-	午後外来		○		○		
9:00-	手術	2.4週		○			
13:00-	手術			○			
17:30-18:30	術後カンファレンス			○			
17:30-18:30	呼吸器内科合同カンファレンス	○					
18:00-19:00	呼吸器内科合同病理カンファレンス	1/2月					

## 基幹施設（獨協医科大学埼玉医療センター小児外科）

		月	火	水	木	金	土
8:00-8:30	抄読会					○	
8:30-9:00	病棟カンファレンス	○	○	○	○	○	○
9:00-17:30	病棟（入院患者）管理	○	○	○	○	○	○
9:00-17:30	手術		○			○	
16:30-17:30	教授回診					○	
18:00-19:00	病理合同カンファレンス（不定期）					○	
18:00-19:00	周産期外科セミナー（不定期）					○	

## 基幹施設（獨協医科大学埼玉医療センター乳腺科）

		月	火	水	木	金	土
8:30	手術	○			○		
9:00	病棟業務・回診	○	○	○	○	○	○
8:45	午前外来、初診再診	○	○	○	○	○	○
13:00	午後外来、初診再診	○	○	○	○	○	
12:30	化学療法	○	○	○	○	○	○
16:30	術前術後カンファレンス	○					
16:00	読影カンファレンス				○		
16:00	病理カンファレンス	○					
17:30	入院患者カンファレンス	○					
11:00	学会予行演習・研究カンファレンス						○



## 連携施設（春日部市立医療センター）

		月	火	水	木	金	土
8:00-8-30	朝カンファランス			○			
8:00-12:00	病棟業務	○	○	○	○	○	○
8:45-12:00	外来診療	○	○	○	○	○	○
13:00-	手術						
17:00-	症例検討会	○					

## 連携施設（西新井大腸肛門科）

		月	火	水	木	金	土	日
8:00-8:30	朝カンファランス	○	○	○	○	○	○	
8:30-9:00	病棟診療 回診	○	○	○	○	○	○	○
9:00-12:00	午前外来	○	○	○	○	○	○	○
13:00-16:00	手術	○		○		○	○	
13:00-16:00	内視鏡	○	○	○	○	○	○	
16:00-18:00	午後外来	○		○		○		

## 連携施設（イムス東京葛飾総合病院）

		月	火	水	木	金	土
8:00-9:00	抄読会・勉強会		○				
8:00-9:00	朝カンファランス	○	○	○	○	○	○
9:00	総回診	○	○	○	○	○	○
9:00	手術		○	○	○		○
9:00-13:00	外来(午前)					○	
17:30	病棟カンファランス	○	○	○	○	○	○

## 連携施設（埼玉あすか松伏病院）

		月	火	水	木	金	土
8:30-9:00	朝カンファランス	○	○	○		○	○
9:00-12:00	午前外来	○				○	
9:00-9:30	健診			○			
9:30-12:00	消化器内視鏡			○			
9:00-12:00	病棟業務		○				○
14:00-	手術			○			
15:00-17:00	午後外来						○
14:00-17:30	病棟業務	○	○			○	
18:00-	院内研修会		○			○	
18:00-	医局ミーティング	○					

## 連携施設（イムス葛飾ハートセンター）

		月	火	水	木	金	土
7:30-8:00	抄読会、勉強会		○				
8:00-8:30	朝カンファレンス	○	○	○	○	○	○
8:30-12:00	病棟業務	○	○	○	○	○	○
9:00-12:00	午前外来				○		
8:30-	手術	○	○	○	○	○	
8:30-9:00	内科外科合同カンファレンス						○

## 連携施設（東都春日部病院）

		月	火	水	木	金	土
9:00-11:30	病棟業務	○	○	○	○	○	
9:00-11:30	午前外来	○	○			○	
12:00-18:00	手術		○				
14:00-15:00	講演会				○		
12:30-13:00	勉強会		○				
13:00-14:00	医局会					○	

## 連携施設（みくに病院）

		月	火	水	木	金	土
9:00-12:00	午前外来		○			○	○
9:00-12:00	検査	○			○		
14:00-17:00	検査	○	○		○	○	
14:00-18:00	手術				○	○	
9:00-12:00	回診	○			○		
14:00-17:00	病棟業務	○	○		○	○	○
15:00-17:00	総回診	○	○		○	○	
14:00-15:00	病棟カンファレンス		○			○	

## 連携施設（十全病院）

		月	火	水	木	金	土
9:00-12:00	病棟業務	○			○		
9:00-12:00	午前外来		○	○	○		
9:00-12:00	上部内視鏡検査	○	○		○		
9:00-12:00	大腸内視鏡検査	○					○
13:00-13:30	薬剤勉強会			○			
13:40-14:00	リハビリテーションカンファレンス				○		
14:00-17:00	病棟回診	○	○	○	○		
14:00-	手術		○	○	○		

## 連携施設（二宮病院）

		月	火	水	木	金	土
8:30-9:00	病棟回診	○	○	○	○	○	○
9:00-12:30	午前外来	○	○	○	○	○	○
9:30-	内視鏡検査		○			○	○
9:30-12:30	乳腺外来				○		
13:30-16:30	乳腺外来						○
14:30-17:30	午後外来	○	○	○	○	○	
16:00-	手術			○			
14:00-	手術				○	○	
18:00-20:00	放射線＋外来病棟カンファランス			○			

## 連携施設（越谷誠和病院）

		月	火	水	木	金	土
9:00-12:00	外科・多職種合同カンファランス ・総回診					○	
9:00-13:00	午前外来	○					○
14:00-17:30	午後外来				○		
9:00-	手術	○		○		○	
9:00-12:00	病棟業務	○	○	○	○	○	○

## 連携施設（藤村病院）

		月	火	水	木	金	土
8:30-9:00	朝カンファランス			○			
9:00-12:00	病棟業務	○		○		○	
9:00-12:00	午前外来		○				
9:00-12:00	午前内視鏡				○		○
13:30-16:00	午後内視鏡		○				
13:30-18:00	手術	○		○		○	
14:30-17:00	午後外来				○		
17:00-18:00	内科外科カンファランス				○		
17:30-18:30	医局会	○					

## 連携施設（堀ノ内病院）

		月	火	水	木	金	土
8:00-8:30	抄読会、勉強会	○					
8:30-9:00	朝カンファランス	○					
8:00-12:00	病棟業務	○	○	○	○	○	○
9:00-12:00	午前外来		○				
12:00-14:00	午後外来					○	
13:30-	手術	○			○		
9:00-11:00	総回診	○					

## 連携施設（埼玉石心会病院）

		月	火	水	木	金	土
7:45-8:15	モーニングセミナー			○			
8:05-8:30	ERケースカンファランス				○		
8:15-8:30	外科術前カンファランス	○					
8:30-8:45	救急カンファランス	○	○	○	○	○	○
8:45-	病棟業務	○	○	○	○	○	○
9:00-	手術	○	○	○	○	○	○
9:00-12:00	病棟回診		○				○
9:00-12:00	外来				○		
12:30-13:00	ランチョンセミナー				○		
14:00-15:00	外科病棟カンファランス				○		
17:00-18:00	外科カンファランス	○					
17:00-18:00	手術症例カンファランス			○			
17:00-18:00	外科病理カンファランス	○					
18:00-19:00	CPC	○					

## 連携施設（公立昭和病院）

		月	火	水	木	金	土
8:00-8:30	朝温度板カンファランス	○					
8:00-8:45	手術症例カンファランス		○			○	
8:00-8:45	抄読会/学会予行			○			
8:00-8:30	勉強会/手術症例カンファランス				○		
8:35-8:45	退院支援多職種カンファランス	○			○		
8:45-9:00	朝回診	○	○	○	○	○	○
9:00-	手術	○	○	○	○	○	○
9:00-12:00	午前外来	○	○	○	○	○	○
13:00-17:00	午後外来	○	○	○	○	○	○
16:30-	夕回診	○	○	○	○	○	○
15:30-17:00	手術症例カンファランス症例検討会				○		
18:00-19:00	内科外科合同カンファランス			○			

## 連携施設（伊勢崎佐波医師会病院）

		月	火	水	木	金	土
8:30-10:00	チャートおよび病棟回診	○	○	○	○	○	
9:00-	手術		○	○		○	
9:00-	消化器内視鏡検査	○	○	○	○		
18:00-	説明会・抄読会					○	
16:00-	術前術後カンファランス	○			○		

## 連携施設（小笠原記念札幌病院）

		月	火	水	木	金	土
8:15-8:30	オペカンファ		○				
8:30-8:40	入退院調整会議				○		
9:11-12:00	午前外来		○	○			
9:00-	手術		○		○		
13:00-13:20	理事長回診	○		○			
13:30-14:00	訪問診療			○		○	
14:00-17:00	午後外来	○	○	○		○	
17:25-17:45	消化器内科外科合同カンファランス		○				

## 連携施設（榛原総合病院）

		月	火	水	木	金	土
8:15-8:30	心臓血管外科術前カンファランス				○		
8:30-8:45	病棟カンファランス				○		
8:30-9:00	抄読会		○				
8:30-9:00	朝カンファランス	○		○	○	○	
9:00-12:00	外来		○			○	
9:00-15:00	手術			○			
9:00-10:00	総回診				○		
9:00-12:00	病棟業務	○	○		○	○	○
13:00-17:00	病棟業務	○					
14:00-17:00	手術		○				
18:00-19:00	内科外科合同カンファランス				○		

## 連携施設（獨協医科大学病院心臓血管外科）

		月	火	水	木	金	土
7:30-8:00	抄読会・勉強会		○				
7:30-8:00	術後検討会					○	
8:00-8:30	朝カンファレンス	○	○	○	○	○	
8:30-10:00	総回診			○			
8:30-12:00	外来業務	○	○	○	○	○	
8:30-	手術	○	○		○	○	
8:30-	病棟業務	○	○	○	○	○	○
17:00-18:00	術前カンファレンス		○				
17:30-18:30	内科外科カンファレンス	○				○	
18:30-19:30	血管外科カンファレンス					○	
適宜	タカンファレンス	○	○	○	○	○	

## 連携施設（獨協医科大学呼吸器外科）

		月	火	水	木	金	土
8:00-9:00	症例カンファレンス		○	○	○		
9:00-17:00	手術		○		○		
9:00-10:00	総回診			○			
9:00-12:00	病棟業務	○	○	○	○	○	○
10:00-12:00	気管支鏡検査			○			
13:00-17:00	病棟業務	○	○	○	○	○	
13:00-17:00	手術			○		○	
17:00-18:00	医局カンファレンス				○		
18:30-	病理放射線内科合同カンファレンス		○				

## 連携施設（さいたま記念病院）

		月	火	水	木	金	土	日
8:15-8:45	朝カンファレンス			○				
8:45-9:30	回診・病棟業務	○	○	○	○	○	○	
9:30-12:00	午前外来	○		○			○	
9:00	手術(午前・午後)		○		○			
9:00-11:30	内視鏡検査			○		○		
13:00-16:00	内視鏡検査					○		
13:00-16:30	午後外来			○				
16:30-17:00	内科外科カンファレンス		○					
16:30-17:00	勉強会	○						
17:00	医局会(月1回)	○						

## プログラムに関連した全体行事の年間スケジュール

月	全体行事予定
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>外科専門研修開始。専攻医および指導医に提出用資料の配布（獨協医科大学埼玉医療センターホームページ）</li> <li>日本外科学会参加（発表）</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修修了者：専門医認定審査申請・提出</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修修了者：専門医認定審査（筆記試験）</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨床外科学会参加（発表）</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>専攻医：研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙の作成（年次報告、書類は翌月に提出）</li> <li>専攻医：研修プログラム評価報告用紙の作成（書類は翌月に提出）</li> <li>指導医・指導責任者：指導実績報告用紙の作成（書類は翌月に提出）</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>その年度の研修終了</li> <li>専攻医：その年度の研修目標達成度評価報告用紙と経験症例数報告用紙を提出</li> <li>指導医・指導責任者：前年度の指導実績報告用紙の提出</li> <li>研修プログラム管理委員会開催</li> </ul>

## 5. 専攻医の到達目標（習得すべき知識・技能・態度など）

・専攻医研修マニュアルの到達目標1（専門知識）、到達目標2（専門技能）、到達目標3（学問的姿勢）、到達目標4（倫理性、社会性など）を参照してください。

## 6. 各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得（専攻医研修マニュアル-到達目標3-参照）

・基幹施設および連携施設それぞれにおいて医師および看護スタッフによる治療および管理方針の症例検討会を行い、専攻医は積極的に意見を述べ、同僚の意見を聴くことにより、具体的な治療と管理の論理を学びます。

複数の臓器に広がる進行・再発例や、重症の内科合併症を有する症例、非常に稀で標準治療がない症例などの治療方針決定について、内科など関連診療科、病理部、放射線科、緩和、看護スタッフなどによる合同カンファレンスを行います。

・獨協医科大学埼玉医療センターと連携施設による症例検討会を年2回実施します。

・各施設において抄読会や勉強会を実施します。専攻医は最新のガイドラインを参照するとともにインターネットなどによる情報検索を行います。

➤ 獨協医科大学埼玉医療センターにおいて、大動物を用いたトレーニング設備や

教育DVDなどを用いて積極的に手術手技を学びます。

➤ 日本外科学会の学術集会（特に教育プログラム）、e-learning、その他各種研修セミナーや各病院内で実施されるこれらの講習会などで下記の事柄を学びます。

- ◇ 標準的医療および今後期待される先進的医療
- ◇ 医療倫理、医療安全、院内感染対策

## 7. 学問的姿勢について

専攻医は、医学・医療の進歩に遅れることなく、常に研鑽、自己学習することが求められます。患者の日常的診療から浮かび上がるクリニカルクエスチョンを日々の学習により解決し、今日のエビデンスでは解決し得ない問題は臨床研究に自ら参加、もしくは企画する事で解決しようとする姿勢を身につけます。学会には積極的に参加し、基礎的あるいは臨床的研究成果を発表します。さらにえられた成果は論文として発表し、公に広めるとともに批評を受ける姿勢を身につけます。

研修期間中に以下の要件を満たす必要があります。（専攻医研修マニュアル-到達目標3-参照）

- 日本外科学会定期学術集会に1回以上参加
- 指定の学術集会や学術出版物に、筆頭者として症例報告や臨床研究の結果を発表

## 8. 医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性などについて（専攻医研修マニュアル-到達目標3-参照）

医師として求められるコアコンピテンシーには態度、倫理性、社会性などが含まれています。内容を具体的に示します。

- 1) 医師としての責務を自律的に果たし信頼されること（プロフェッショナリズム）
  - 医療専門家である医師と患者を含む社会との契約を十分に理解し、患者、家族から信頼される知識・技能および態度を身につけます。
- 2) 患者中心の医療を実践し、医の倫理・医療安全に配慮すること
  - 患者の社会的・遺伝学的背景もふまえ患者ごとの的確な医療を目指します。
  - 医療安全の重要性を理解し事故防止、事故後の対応をマニュアルに沿って実践します。
- 3) 臨床の現場から学ぶ態度を習得すること
  - 臨床の現場から学び続けることの重要性を認識し、その方法を身につけます。



#### 4) チーム医療の一員として行動すること

- チーム医療の必要性を理解しチームのリーダーとして活動します。
- 的確なコンサルテーションを実践します。
- 他のメディカルスタッフと協調して診療にあたります。

#### 5) 後輩医師に教育・指導を行うこと

- 自らの診療技術、態度が後輩の模範となり、また形成的指導が実践できるように学生や初期研修医および後輩専攻医を指導医とともに受け持ち患者を担当し、チーム医療の一員として後輩医師の教育・指導を担います。

#### 6) 保健医療や主たる医療法規を理解し、遵守すること

- 健康保険制度を理解し保健医療をメディカルスタッフと協調し実践します。
- 医師法・医療法、健康保険法、国民健康保険法、老人保健法を理解します。
- 診断書、証明書が記載できます。

### 9. 施設群による研修プログラムおよび地域医療についての考え方

#### 1) 施設群による研修

本研修プログラムでは獨協医科大学埼玉医療センターを基幹施設とし、埼玉県内とくに東部地区を中心とした地域の連携施設とともに病院施設群を構成します。専攻医はこれらの施設群をローテートすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行うことが可能となります。これは専攻医が専門医取得に必要な経験を積むことに大変有効です。獨協医科大学埼玉医療センターは埼玉県東部二次医療圏の地域医療の中核を担っていますが、連携施設ではより地域に密着した医療を経験することができます。また、連携施設の中には、獨協医科大学埼玉医療センターでも手術などの治療を実施した症例の緩和ケアを担当している施設や、地域の一次救急医療を担当している施設が含まれています。これらの経験は大学での研修のみでは不十分となりがちですので、施設群内の連携施設で研修を行うことが非常に大切です。獨協医科大学埼玉医療センター外科専門医養成プログラム（サブスペシャリティ連動型）の専攻医は指導内容や経験症例数に不公平が無いように十分配慮します。

施設群における研修の順序、期間等については、専攻医数や個々の専攻医の研修進捗状況、各病院の状況、地域の医療体制を勘案して、獨協医科大学埼玉医療センター外科専門医養成プログラム（サブスペシャリティ連動型）管理委員会が決定します。

#### 2) 地域医療の経験（専攻医研修マニュアル-経験目標3-参照）

地域の連携病院では病診・病々連携、地域包括ケア、在宅医療などの意義につい

て学ぶことができます。以下に本研修プログラムにおける地域医療についてまとめます。

- 本研修プログラムの連携施設には、その地域における地域医療の拠点となっている施設（地域中核病院、地域中小病院）が入っています。そのため、連携施設での研修中に以下の地域医療（過疎地域も含む）の研修が可能です。
- 地域の医療資源や救急体制について把握し、地域の特性に応じた病診連携、病病連携のあり方について理解して実践します。
- 消化器がん患者の緩和ケアなど、ADLの低下した患者に対して、在宅医療や緩和ケア専門施設などを活用した医療を立案します。

#### 10. 専門研修の評価について（専攻医研修マニュアル-VI-参照）

専門研修中の専攻医と指導医の相互評価は施設群による研修とともに専門研修プログラムの根幹となるものです。

研修の区切り毎にコアコンピテンシーと外科専門医に求められる知識・技能の習得目標を設定し、専門研修の1年目、2年目、3年目のそれぞれの年度の終わりに達成度を評価します。このことにより、基本から応用へ、さらに専門医として独立して実践できるまで着実に実力をつけていくように配慮しています。

- 指導医は日々の臨床の中で専攻医を指導します。
- 専攻医は経験症例数(NCD 登録)・研修目標達成度の自己評価を行います。
- 指導医も専攻医の研修目標達成度の評価を行います。
- 医師としての態度についての評価には、自己評価に加えて、指導医による評価、施設の指導責任者による評価、看護師長などの他職種による評価が含まれます。
- 専攻医は毎年2月末(年次報告)に所定の用紙を用いて経験症例数報告書(NCD 登録)及び自己評価報告書を作成し、指導医はそれに評価・講評を加えます。
- 専攻医は上記書類をそれぞれ3月に専門研修プログラム管理委員会に提出します。
- 指導責任者は「専攻医研修実績記録」を印刷し、署名・押印したものを専門研修プログラム管理委員会に送付します。自己評価と指導医評価、指導医コメントが書き込まれている必要があります。「専攻医研修実績記録」の自己評価と指導医評価、指導医コメント欄は一定期間毎(3か月～1年毎 プログラムに明記)ごとに上書きしていきます。
- 3年間の総合的な修了判定は研修プログラム管理委員会が審査を行い、研修プログラム統括責任者が決定します。この修了判定を得ることができてから 専門医試験の申請を行うことができます。

### 1 1. 専門研修プログラム管理委員会について（外科専門研修プログラム整備基準6.4 参照）

基幹施設である獨協医科大学埼玉医療センターには、専門研修プログラム管理委員会と、専門研修プログラム統括責任者を置きます。連携施設群には、専門研修プログラム連携施設担当者と専門研修プログラム委員会組織が置かれます。獨協医科大学埼玉医療センター外科専門医養成プログラム（サブスペシャリティ連動型）管理委員会は、専門研修プログラム統括責任者（委員長）、副委員長、事務局代表者、外科の6つの専門分野（消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺外科、内分泌外科）の研修指導責任者、および連携施設担当委員などで構成されます。研修プログラムの改善へ向けての会議には専門医取得直後の若手医師代表が加わります。専門研修プログラム管理委員会は、専攻医および専門研修プログラム全般の管理と、専門研修プログラムの継続的改良を行います。

### 1 2. 専攻医の就業環境について

- 1) 専門研修基幹施設および連携施設の外科責任者は専攻医の労働環境改善に努めます。
- 2) 専門研修プログラム統括責任者または専門研修指導医は専攻医のメンタルヘルズに配慮します。
- 3) 専攻医の勤務時間、当直、給与、休日は労働基準法に準じて各専門研修基幹施設、各専門研修連携施設の施設規定に従います。

### 1 3. 専門研修プログラムの評価と改善方法（専攻医研修マニュアル-XII-参照）

獨協医科大学埼玉医療センター外科専門医養成プログラム（サブスペシャリティ連動型）では専攻医からのフィードバックを重視して研修プログラムの改善を行うこととしています。

- 1) 専攻医による指導医および研修プログラムに対する評価 専攻医は、年次毎に指導医、専攻医指導施設、専門研修プログラムに対する評価を行います。また、指導医も専攻医指導施設、専門研修プログラムに対する評価を行います。専攻医や指導医等からの評価は、研修プログラム管理委員会に提出され、研修プログラム管理委員会は研修プログラムの改善に役立ちます。このようなフィードバックによって専門研修プログラムをより良いものに改善していきます。専門研修プログラム管理委員会は必要と判断した場合、専攻医指導施設の実地調査および指導を行います。評価にもとづいて何をどのように改善したかを記録し、毎年3月31日までに日本専門医機構の外科専門研修委員会に報告します。
- 2) 研修に対する監査（サイトビジット等）・調査への対応 外科専門研修プログラムに対して日本専門医機構からサイトビジット（現地調査）が行われます。その評価にもとづいて専門研修プログラム管理委員会で研修プログラムの改良を行います。専門研修プログラ

ム更新の際には、サイトビジットによる評価の結果と改良の方策について日本専門医機構の外科研修委員会に報告します。

#### 1 4. 修了判定について

3年間の研修期間における年次毎の評価表および3年間の実地経験目録にもとづいて、知識・技能・態度が専門医試験を受けるのにふさわしいものであるかどうか、症例経験数が日本専門医機構の外科領域研修委員会が要求する内容を満たしているものであるかどうかを、専門医認定申請年(3年目あるいはそれ以後)の3月末に研修プログラム統括責任者または研修連携施設担当者が研修プログラム管理委員会において評価し、研修プログラム統括責任者が修了の判定をします。

#### 1 5. 外科研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件 専攻医研修マニュアルVIIIを参照してください。

#### 1 6. 専門研修実績記録システム、マニュアル等について

研修実績および評価の記録

外科学会のホームページにある書式(専攻医研修マニュアル、研修目標達成度評価報告用紙、専攻医研修実績記録、専攻医指導評価記録)を用いて、専攻医は研修実績(NCD登録)を記載し、指導医による形成的評価、フィードバックを受けます。総括的評価は外科専門研修プログラム整備基準に沿って、少なくとも年1回行います。

獨協医科大学埼玉医療センターにて、専攻医の研修履歴(研修施設、期間、担当した専門研修指導医)、研修実績、研修評価を保管します。さらに専攻医による専門研修施設および専門研修プログラムに対する評価も保管します。

プログラム運用マニュアルは以下の専攻医研修マニュアルと指導者マニュアルを用います。

- 専攻医研修マニュアル

別紙「専攻医研修マニュアル」参照。

- 指導者マニュアル

別紙「指導医マニュアル」参照。

- 専攻医研修実績記録フォーマット

「専攻医研修実績記録」に研修実績を記録し、手術症例はNCDに登録します。

- 指導医による指導とフィードバックの記録

「専攻医研修実績記録」に指導医による形成的評価を記録します。

## 17. 研修に対するサイトビジット（訪問調査）について

専門研修プログラムに対して日本専門医機構からのサイトビジットがあります。サイトビジットにおいては研修指導體制や研修内容について調査が行われます。その評価は専門研修プログラム管理委員会に伝えられ、プログラムの必要な改良を行います。

## 18. 専攻医の採用と修了

### 採用方法

獨協医科大学埼玉医療センター外科専門医養成プログラム（サブスペシャリティ連動型）管理委員会は、毎年7月から説明会等を行い、外科専攻医を募集します。プログラムへの応募者は、10月1日～1月31日の間に研修プログラム責任者宛に所定の形式の『獨協医科大学埼玉医療センター外科専門医養成プログラム（サブスペシャリティ連動型）応募申請書』および履歴書を提出してください。申請書は(1)獨協医科大学埼玉医療センターの

website([www.dokkyomed.ac.jp/hosp-k/bosyu/116.html](http://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-k/bosyu/116.html))よりダウンロード、(2)電話で問い合わせ(048-965-1111)、(3)e-mailで問い合わせ([k-kenshu@dokkyomed.ac.jp](mailto:k-kenshu@dokkyomed.ac.jp))、のいずれの方法でも入手可能です。

原則として11月中から書類選考および面接を開始し、採否を決定して本人に文書で通知します。募集定員に達した時点で募集および選考は終了とします。応募者および選考結果については2月の獨協医科大学埼玉医療センター外科専門医養成プログラム（サブスペシャリティ連動型）管理委員会において報告します。

### 研修開始届け

研修を開始した専攻医は、各年度の5月31日までに以下の専攻医氏名報告書を、日本外科学会事務局([senmoni@jssoc.or.jp](mailto:senmoni@jssoc.or.jp))および、外科研修委員会(#####@jsog.or.jp)に提出します。

- ・ 専攻医の氏名と医籍登録番号、日本外科学会会員番号、専攻医の卒業年度
- ・ 専攻医の履歴書（様式15-3号）
- ・ 専攻医の初期研修修了証

### 修了要件

専攻医研修マニュアル参照。